

防災オープンデータワークショップ

防災道の駅オープンデータを考える

日時：2021年9月21日（火）24日（金）17時30分～19時30分

オンライン・参加無料

国土交通省は、地域防災計画等で広域的な防災拠点に位置づけられている「道の駅」39駅を「防災道の駅」として選定しました。（令和3年6月）

平成30年7月豪雨の被災地支援をきっかけとして、防災オープンデータの推進に取り組んでいる一般社団法人データクレイドルでは、アーバンデータチャレンジ2021 岡山ブロックの活動として、一般社団法人やまぐちGISひろばと共同で、中国地域の「防災道の駅」をモデルに、「防災道の駅」のオープンデータ化およびオープンデータの活用検討を行うことといたしました。

参加者がオンラインで「防災道の駅」データ活用モデルやオープンデータ項目の検討を行い、検討状況や成果を令和3年度中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブルで報告する計画です。防災オープンデータに関心のある方々のご参加をお待ちしております。

（参考）中国地域オープンデータ利活用ラウンドテーブル <https://www.cic-infonet.jp/roundtable/>

●第1回「防災道の駅」オープンデータ活用モデルを考える

日時 2021年9月21日（火）17時30分～19時30分

プログラム

INPUT「防災道の駅」の役割と期待（仮題）

国土交通省中国整備局岡山国道事務所 桐谷副所長

INPUT「防災道の駅」オープンデータ化の意義

（一社）やまぐちGISひろば代表理事・山口大学名誉教授 三浦房紀氏

アイデアソン「防災道の駅」オープンデータの活用モデル検討

アイデア発表

●第2回「防災道の駅」オープンデータ項目を考える

日時 2021年9月24日（金）17時30分～19時30分

プログラム

INPUT「中国地域防災オープンデータセットについて」

（一社）データクレイドル理事 大島正美（内閣官房オープンデータ伝道師）

INPUT「防災道の駅」オープンデータ活用イメージについて

～第1回アイデアソン結果のご紹介

データソン「防災道の駅」オープンデータ項目検討

お申込みフォーム <https://forms.gle/pWQiT9GcTLmirbKU8>

主催：一般社団法人 データクレイドル
 協力：一般社団法人やまぐちGISひろば
 協力：中国地方整備局岡山国道事務所
 後援：山口大学
 後援：アーバンデータチャレンジ2021実行委員会

アーバンデータチャレンジ（UDC）
 地域課題の解決を目的に、主に地方自治体を中心とする公共データを活用したデータ活用型コミュニティづくりと一般参加を伴う作品コンテストの2つのパートで構成されています。

<https://urbandata-challenge.jp/>